



Ray Klingensmith

レイ・クリンギンスミス  
2010-11年度 国際ロータリー会長



高砂

No.15

Takasago Rotary Club

週報

### クラブ会長方針

- ロータリーの優しさと思いやりを地域へ
- ①高砂ロータリークラブの歴史と伝統を学ぼう
- ②職業奉仕と親睦の実践
- ③友愛奉仕基金の主旨を再確認
- ④ロータリー活動を広報し、地域に広めよう

例会記録 (2010. 10. 22 (金)) 通算2,823回

#### ◆開会

#### ◆唱歌

ロータリーソング (我等の生業)

#### ◆「四つのテスト」唱和

#### ◆ゲスト紹介

米山奨学生 黄 娜實 (ファン ナシル) 様  
カウンセラー 八木隆博様 (神戸西R.C)

#### ◆来訪ロータリアン

姫路東R.C 大西健一会員



#### ◆プログラム予定

10月29日 (金)	11月5日 (金)	11月12日 (金)	11月19日 (金)
卓話 「四つのテスト」 歌唱指導 坂牛八州会員	卓話 中嶋邦弘様	卓話 音楽療法 退職後の生き甲斐 安元邦夫様	万灯祭 実行委員会報告

## ◆出席報告

本日 10月22日 会員数49名 出席者 38名 出席率84.44%  
前々回 10月 1日 会員数49名 修正出席者43名 出席率97.67%修正

## ◆MAKE-UP

寺崎 道雄会員	e - C L U B	10月15日
濱崎日出夫会員	e - C L U B	10月17日
安藤 公夫会員	e - C L U B	10月19日
西川 敏彦会員	e - C L U B	10月22日
大久保義郎会員	e - C L U B	10月21日
中尾 康三会員	e - C L U B	10月 7日
安藤 公夫会員	e - C L U B	10月20日
尾上 喜秀会員	e - C L U B	10月 7日
桂田 重信会員	e - C L U B	10月20日
桂田 重信会員	国際ロータリー第2680地区 2009-10年度地区大会	2月28日
名島 一成会員	ロータリー財団セミナー	9月 5日
坂牛 八州会員	国際ロータリー第2680地区 2009-10年度地区大会	2月27日

## ◆委員会報告

### ○親睦活動委員会（丸山会員）

先日の家族移動例会ご参加ありがとうございました。

○小林会員 J Power で「わくわく感謝DAY」開催します。

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

神戸西R. C八木隆博会員……米山留学生ファンさんのカウンセラーです。

よろしくお願ひ致します。

籠谷先輩に久しぶりにお会いさせて頂きました。

籠谷 啓一会員……丸山会員、家族会の写真ありがとうございました。

八木様ようこそ高砂R. Cへお越し下さいました。

中野 哲郎会員……丸山会員、写真ありがとうございました。

庄司 治会員……米山奨学生<sup>ファン</sup>黄さんをお迎えして。

脇谷 政孝幹事……八木様、黄<sup>ファン ナシル</sup>娜實様ようこそお越し下さいました。

よろしくお願ひ致します。ちょっと嬉しいこともありました。

山名 克典会員……孫（女の子）が出来ました。

名島さん、丸山さん写真ありがとうございました。

早退4名

## ◆幹事報告（2,823回）

◎前回例会同様、「パキスタン洪水復興基金」の募金箱を回しますので、ご協力をお願いい

たします。前回例会時ご協力金額：34,750円

◎久野ガバナーエレクト事務所 松下次期代表幹事より、次年度資料作成のための調査票とともに、次年度主要行事のお知らせが届いております。

◎高砂市学校保健会より、「第50回高砂市学校保健大会」のご案内と表彰楯等の寄託についてご依頼が届いております。

◎加古川健康福祉事務所より、「麻薬・覚せい剤乱用防止運動に係るキャンペーンのご案内」が届いております。

◎ガバナー事務所より、10月24日「世界ポリオ・デー」にちなんだ、ポリオ・プラスへの100ドル以上のオンラインでの寄付に対する認証ポイント優遇のお知らせが届いております。

◎ロータリー囲碁同好会より、「第9回ロータリー全国囲碁大会」の結果速報が届いております。

◎相生R.Cより週報が届いております。

※例会変更のお知らせ

◎姫路南R.C 11月8日(月)→6日(土) 西播第1グループIM

於：姫路商工会議所501号室

#### ◆会長の時間

ロータリーの職業奉仕のテーマに「三方良し」という近江商人の商い理念が採り入れられます。「売り手よし、買い手よし、世間よし」つまり三方良しです。その原典となるのが、江戸時代中期の近江商人である中村治兵衛が孫に遺した「書置」ですが、この中に「三方良し」の文字は存在しません。何故なら、この言葉は近江商人の活動や精神を研究している現代の研究科が考案したものであるからです。「書置」には「たとえ他国へ行商に参り候でも、この商内物、この国の人一

切の人々、心よく着申され候ようにと、自分のことに思わず、皆人よき様にと思い」とあり「自分のことよりもお客の事を考え、行き先（商売で回る地方）の人の事を大切にして商売をする」近江商人の商道德の神髓が示されています。また従業員に利益の3分の1を還元する日本初のボーナス制度も近江商人から生まれました。

「水の都」大阪は八百八橋と言われるほどたくさんの橋が架かっております。これらの橋は全て、大阪商人が自分たちの地域は自分たちで作ろうと考え、架けていったものです。その一つに皆様もよくご存じの「心齋橋」があります。この橋の名前の由来は、江戸時代に、ある人が「懐徳堂」という論語塾をつくりました。大阪商人たちは仕事を終えて、毎晩その論語塾に通い孔子の教えを学んだのです。孔子の言葉に「仁の道は、貧富に関わりなく存在する。先ず心を洗え。」というのがあります。大阪商人は心を洗う、心を斉（つつ）しむ橋と書いて「心齋橋」と名付けました。これらのことが大阪商人の職業道徳、職業倫理の基本となり確立されて行きました。

越中富山の薬売り、置き薬はそのユニークな商法で有名です。江戸時代に富山の薬が大



信原智彦会長

変効くと評判になり、全国に行商に回るようになりました。各家を訪れ薬箱を置かせてもらい、年に一、二度訪れ使用した薬に応じて料金をもらうシステムです。これは売り手と買い手が余程の信頼感がないとなかなか確立しません。明治時代になると北海道の開拓地の隅々まで足を運び健康維持に貢献しました。昭和5、6年と2年続けて北海道は大凶作に襲われ薬代も滞るようになりました。そういう状況でも富山の薬売りは「お金の事は心配せずに病気になったら薬を飲んで子供たちを大事に育てなさい、私は富山に帰ったら田んぼで生活出来るから」と言って薬を補充して回りました。

翌年、北海道は大豊作になり人々は滞った代金を真っ先に支払にきたそうです。現在、商取引には商品と金銭の受け渡しに厳格なルールがありそのルールを守ってこそお互いの信頼感が生まれます。これは当然のことですが、以前、もっと貧しい時代に売り手も買い手も「互助の精神の商い」が信頼になり、信用になっていく。ここ数年、中国を始めアジア諸国の人々は、この日本の信頼、信用を求めて買い物に訪れます。これを失ってしまうと、日本の未来は無くなるように思います。

## ◆本日のプログラム

### 卓話「私の思う事」

米山奨学生 黄 娜實(ファン ナシル)様



米山奨学生 黄 娜實 様



紹介：庄司米山奨学委員長



カウンセラー 八木 隆博 様



会 長 信原 智彦                      幹 事 脇谷 政孝  
 例会日時 毎週金曜日12時30分より  
 高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 大久保義郎  
 例会場 高砂商工会議所 2階会議室  
[http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)